

感染症科研修

感染症科ローテーション研修目標

感染症診療の基本的な考え方を身につけ、適切な感染症の診断および治療が実践できるようになること。

基本的な感染対策の考え方を身につけ、適切な手指衛生および感染経路別予防策が実践できるようになること。

経験すべき診察・検査・治療法

1. 基本的な感染症診療の考え方を身につける
 - ① 臓器・解剖学的な視点からの感染症診断ができるようになる
 - ② 原因微生物を推定し、特定するための適切な感染症検査を実施できる
 - ③ 初期治療薬を当院のアンチバイオグラムを参考に選択することができる
 - ④ 微生物検査結果を参考に、最適な感染症治療薬を選択することができる
 - ⑤ バイタルサインや臓器別の臨床所見を参考に、適切な感染症治療薬投与期間を決定できる

2. 基本的な感染対策の考え方を身につける
 - ① 手指衛生の5つのタイミングを記憶し実践できる
 - ② アルコール性手指消毒剤と流水と液体石鹸による手洗いを適切に使い分けできる
 - ③ 空気感染対策が必要な微生物・臨床状況がわかる
 - ④ 飛沫感染対策が必要な微生物・臨床状況がわかる
 - ⑤ 接触感染対策が必要な微生物・臨床状況がわかる

3. 薬剤耐性問題および抗菌薬適正使用の考え方を身につける
 - ① 薬剤耐性（AMR）問題について説明することができる
 - ② 医療関連感染症で重要な薬剤耐性菌を把握している
 - ③ 市中感染症で重要な薬剤耐性菌を把握している
 - ④ 菌種同定および抗菌薬感受性検査結果を適切に解釈して、最適な抗菌薬を選択できる
 - ⑤ 腎機能・肝機能に応じて、最適な感染症治療薬の投与設計ができる

4. 経験すべき疾患
患者の症状と身体所見、簡単な検査所見より鑑別診断、初期治療を的確に行えるようになるために以下の病態を経験する
 - ① 敗血症・菌血症
 - ② HIV・AIDS
 - ③ 結核

- ④ 麻疹・風疹・水痘
- ⑤ 流行性耳下腺炎
- ⑥ 輸入感染症

5. 細菌検査室実習

- ① グラム染色が一人でできるようになる
- ② グラム染色プレパレートを鏡検し、原因微生物の推定ができる
- ③ 各種微生物の核酸増幅検査の方法を把握する
- ④ 血液培養陽性時のサブカルチャー方法、菌種同定・感受性検査の具体的な流れについて説明できる
- ⑤ 安全キャビネットを使用すべき検体・臨床状況を把握できる
- ⑥ 結核・非結核性抗酸菌の微生物検査の概要を説明できる
- ⑦ 細菌検査室が担っている、微生物サーベイランス検査の意義について説明することができる